

うちゅうせん通信

広報係 2021年6月19日(土)発行 第18号

☆2021年度の例会予定 ☆ 毎回土曜日、14時開始

7月24日 8月21日 9月25日
10月16日 11月27日 ※12月18日
1月22日 2月19日 ※3月19日

場所は仙台市天文台
(2階・学習室)
※場所:市中心部(サホセン15時予定)

☆ 仙台市天文ボランティア会報 ☆

星空 ◎:好天 △:僅かに観望 ×:不可 ●:屋内のみ(中止のものは記載していません)

実施日	観望会実施場所	参加人数	開始時刻	終了時刻	星空	投影	スタッフ数	天候	主な内容
■ 12.12(土)	例会(第7回)	—	15:00	17:00	-	-	6名	-	忘年会は実施せず(感染症対策)
■ 1.23(土)	例会(第8回)	—	14:00	16:40	-	-	5名	-	新年最初の例会は5名でスマホの使い方の話題が沸騰!
☆ 1.23(土)	たまきさんサロン	15名	18:00	19:45	×	有	2名	曇	コロナ禍、抽選で15名に絞られた観望会。曇天バージョン
■ 2.20(土)	例会(第9回)	—	14:00	16:00	-	-	7名	-	うちゅうせんの歴史をまとめています。総会、観望会予定
■ 3.13(土)	総会	—	15:00	17:00	-	-	6名	-	2020年度活動まとめ、会計報告、2021年度に向けての方針
☆ 5.2(日)	えぼしリゾート	9名	19:30	20:00	×	有	2名	曇	今年度初めての観望会は雨で開始。(前日5/1は雷で中止)
★ 5.4(火)	えぼしリゾート	45名	19:30	20:20	◎	有	2名	晴	今年初めて望遠鏡で星を見ることが出来た観望会(5/3は中止)
☆ 5.15(土)	水の森キャンプ場	20名	19:00	20:00	×	有	3名	-	隙間なく雲に覆われた完全曇天バージョン秋の開催に期待
■ 5.22(土)	例会(第2回)	—	14:00	16:00	-	-	6名	-	2ヶ月ぶりの例会、ボランティア保険証配布他(4月例会は中止)
■ 6.19(日)	例会(第3回)	—	14:00	15:40	-	-	8名	-	7月のえぼしリゾート観望会の参加メンバー意向確認

☆ 観望会のように

☆ たまきさんサロン・観望会 【2021年1月23日(土)・報告:永井】

年明け最初の観望会は青葉山・たまきさんサロン「冬の星座を探そう」でしたが、あいにくの曇天で星を探すことは出来ませんでした。参加者は親子2名での参加が5組、ご家族4名での参加が1組、お一人(50代)での参加が1組でお子様7名・大人8名の15名でした。

受付後にお土産の天体写真を選んでもらい、18時丁度の開始、挨拶の後、星座物語①は「プレアデスの七人姉妹」次は恒例の?地球儀を使つての説明、星座物語②「オリオンとさそり」、引き続き、「冬の星座説明」、その次に「国際宇宙ステーション」と盛沢山

でしたが、小さいお子様たちも真剣に聞いてもらえました。最後の15分での「質問コーナー」ではお子様三人から「星は重いんですか?」「星の数はどれ位有るの?」などの質問が有りました。間もなく終了の段階で、メインテーマの「光害(ひかりがい)」の話をしていないことに気づき、短時間でありましたが映像を見てもらいながらの何とか説明ができました。

☆ えぼしリゾート・観望会 【2021年5月2日(日)・報告:大石】

ナイトゴンドラ「空中さんぽ」と題して今年もゴールデンウィークの期間4日間依頼がありました。天候不順のため2日間だけの実施となりました。

仙台出発時の天候は雨、えぼしに到着しても雨が降ったりやんだりの状況でした。予約状況は30名ぐらいいましたが、天候のためキャンセルとなったようで10名以下になりました。

6時過ぎに雨が上がり、青空も見えてきたので、観望会の準備をして待機。参加の方々が到着し写真を選んでもらい7時30分に観望会を開始しました。

初めに、今日の星空の説明、北斗七星から北極星の見つけ方、春の大曲線、5月26日の月食などを行いました。その後に星座物語の「オリオンとさそり」、外は、立ってられないほどの強風と寒さのため、東側のテラスで外の観望をしました。雲の切れ間から時々見られる北斗七星の星をつないで北極星を見つけることができました。スピカなどは厚い雲の中で見ることはできませんでした。仙台や岩沼の夜景を楽しんでもらい、ゴンドラで下山し終了しました。

★ えぼしリゾート・観望会 【2021年5月4日(火)・報告:大石】

室内で写真の説明をしながら参加者は1枚の写真を選んでいました。日程の説明をして観望会を開始しました。今日の星空の説明、北斗七星から北極星の見つけ方、春の大曲線と春の大三角、北斗七星二重星、5月26日の月食などを話しました。

その後に外に出てもらい、室内で説明した星々を実際の星空で確認しました。「北斗七星は実際は大きいんですね」とか「晴れてよかった」などの感想を話されていました。望遠鏡ではアルコルとミザールの二重星を見てもらいました。その後は、それぞれ星を見たり持参された一眼レフのカメラで写真を撮ったりしていたようです。望遠鏡や双眼鏡で岩沼方面(仙台空港)を見せて楽しんでもらいました。気温もさほど低くなく、風もほぼ無かったので、星空を楽しんでもらえたようでした。

☆ 水の森キャンプ場・観望会 【2021年5月15日(土)・報告:西口】

空は隙間なく雲に覆われており、望遠鏡も出さず(持ってもいかず)完全曇天バージョンでした。挨拶の後、春に見られる星座の説明(永井)。昨日のISSの写真も見てもらいました。メモをとりながら聞いている小学生の男の子もいました。星座物語「星の仙人」(西口)、天文クイズを永井さんの解説付きで、10問中7問以上正解の方には写真をもう一枚プレゼントしました。続いて星座物語「からすのはねはなぜ黒い」(近藤)。最後の質問コーナーでは、冥王星のこと、星の明るさのことなど、4つ?5つ?も質問が出ました。

今日は残念ながら星は見られませんが、また秋に開催予定であること、えぼしでもする(かも)の話をして終了となりました。

◆ 編集後記 ◆

♣ 2021年1月23日雪が残る仙台市天文台で今年初の例会が行われました。例年シーズンオフで観望会の無い時期であり参加は5名でした。それでも、1月は2件観望会が予定されてましたが、コロナ禍が落ち着かないため1件が3月に延期されるという状況です。

決定事項が特にないため話題は、いつか船長の手を持つスマホへ...年末に大型電気店でスマホに変えただけ使い方が慣れないとのこと。スマホ談義という勉強会?になっていき、いつも以上に遅い時間まで、話が盛り上がりしました。

例会実施中は部屋の扉をあげ放ち、終了後はみんなでテーブルと椅子を除菌のためアルコールスプレーで拭き上げ終了しました。今年中に沈静化し、普段の生活に戻れるといいのですが...。(辺)

追記 新型コロナウイルスまん延防止等重点措置発出により、3月の観望会と4月の例会が中止になりましたので縮小版で発行します。